

4 ページ 発信!

奄美 シマの自然と文化を世界へ!

発行：環境省奄美自然保護官事務所

NEWS

このニュースレターでは、奄美群島にお住まいのみなさんに、世界自然遺産登録や国立公園指定に向けた取組状況をお知らせします。ぜひお読みいただき、奄美のことを一緒に考えていきましょう!

LETTER



～「奄美・琉球」世界自然遺産候補地科学委員会～

世界自然遺産の「推薦候補区域」が決定!!

平成25年12月26日、沖縄県那覇市で「平成25年度第3回奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員会」が開催され、

「奄美・琉球」世界自然遺産の推薦候補区域として以下の4つの区域が選ばれました。

- ①奄美大島
- ②徳之島
- ③沖縄島北部
- ④西表島

これらの区域は、世界自然遺産の登録基準（生態系・生物多様性）などに照らして、固有種や希少種が多く生息していること、まとまった森林を有していること、といった理由から選ばれました。

世界自然遺産登録に向けて、奄美大島・徳之島はもちろん、奄美群島が一体となつてさまざまな取組を加速させていきましょう!

「奄美・琉球」世界自然遺産の推薦候補区域として非常に重要であり、今後、推薦候補区域と一体となつて保護やPRを進めていくべきといった指摘がなされました。

また会議では、加計呂麻島や請島、与路島、喜界島、沖永良部島、与論島といった島々についても「世界遺産に関連する区域」として非常に重要であり、今後、推薦候補区域と一体となつて保護やPRを進めていくべきといった指摘がなされました。

奄美群島がひとつになつてがんばっていくことが大切なんだね～♪

Amami & Ryukyu World Heritage

一問一答

ぬ 島 知恵

おしえ

いねじい ちせんの 講へえの 座

2

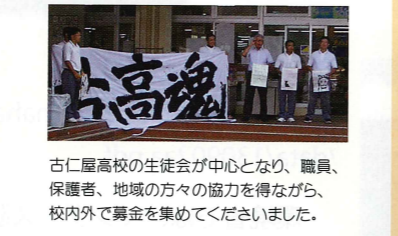
簡単に言えば、残していきたい自然や景観をみんなで寄付を出し合う。

残したい自然や景観をみんなで寄付を出し合う。

ナショナルトラストとは？
19世紀のイギリスで始まりました。市民や企業からの寄付により、豊かな自然や美しい景観地などを買取り、所有することで開発などから守る活動のことです。

日本でも鎌倉をはじめ、天神崎、知床など全国で展開されています。ナショナル・トラストにより取得された土地は「国民の財産」として永久に守られていきます。

※出典：(公社)日本ナショナル・トラスト協会



編集後記

イギリスで始まったナショナル・トラスト運動。単に行政に任せるだけではなく、自分たちの財産(自然)を自分たちで積極的に守り残していこうというもの。今回は、まだ選挙権もない子どもたちが自分のふるさと奄美の自然を単純に守りたいという熱い思いで寄付金集めをしたとのこと。何かと他人のせいにしてプープー言うことが多い自分を反省する黒豚なのであります。(黒豚編集長)

連絡先：環境省奄美自然保護官事務所
電話：0997-55-8620

1

それは、みなさん、おぞろ三唄。

はげっ！

はなやーん

はなやーん

はなやーん

特別出演：昭和の伊達男はるさん

特別友情出演：アマクロくん

奄美に ナショナル・トラスト地が 誕生したわけよ

大ナシト?

3

地元奄美の個人、企業はもちろんだ、全国から応援・寄付があつた嬉しいがね。あつた嬉しいがね。ごもたちが自主的に寄付を募つたのも、(お)い(あ)やあ

4

森は水ぬ源。水はわきや命の源。生き物のためにもわきやためにも残すこと、利用すること。残すこと、利用すること。残すこと、利用すること。

今度もいいこと言つたやあ♪

アミノクロウサギ・トラスト地

寄付金額：2,009万7,002円
取得面積：982,854平方メートル

所在地：瀬戸内町古志
所有者：公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会
白色の部分がトラスト地です



～コラム～

奄美の山ひとり歩き

2000年に大和村にオープンした奄美野生生物保護センター。現在リニューアル工事を進めています。オープン以降、センターにはたくさんの「生きもの情報」が集まっています。センタースタッフはもちろん、マングースバスターズや研究者、地域の方々などが、奄美の自然をひとり歩き？して集めた貴重な情報です。今回のリニューアルでは、それらをフル活用した展示を計画中です。

奄美群島の生きものたちで賑わい、訪れる方々に楽しんでいただき、地域の方々にもより愛されるセンターにすべく、スタッフ一同「お・も・て・な・し」の精神で準備しています。4月には、新しくなったセンターをお披露目したいと思います。お楽しみに～～。(外壁塗装中です。)



【奄美マンゲースバスターズ】



【マンゲース探索犬】

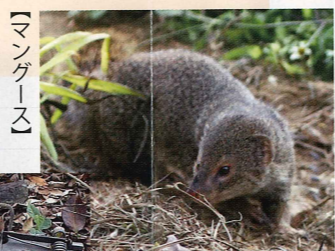
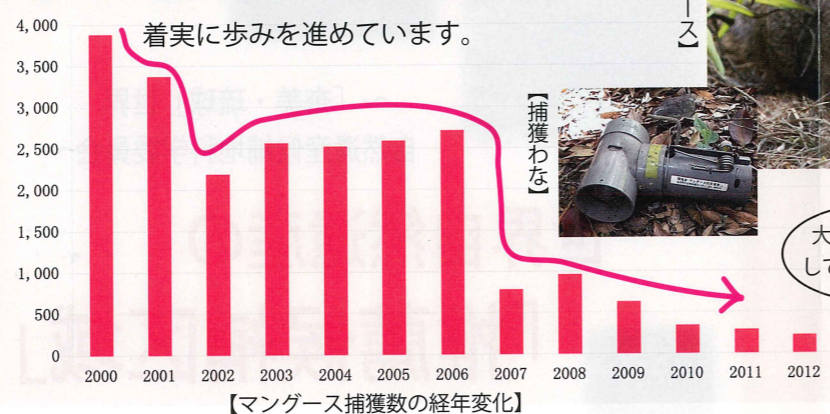


【わな点検作業】

■奄美大島では、ハブ対策として35年ほど前に外来種のマンゲースが放されました。しかし、マンゲースはハブではなく、アマミノクロウサギやアマミシカワガエルといった島固有の生きものたちを次々と捕食。森の生態系は一変してしまいました。

このため環境省では、平成17年の外来生物法の施行と同時に専門チーム「奄美マンゲースバスターズ」を組織し、本格的なマンゲース防除事業に着手しました。

バスターズたちの組織的かつ地道な作業によって、マンゲースの大幅な減少に成功。目標とする「奄美大島からのマンゲースの完全排除」、その先の「豊かな生物多様性の回復」に向け、着実に歩みを進めています。



【マンゲース】

大幅に減少しています!



世界自然遺産登録に向けた取組 (その1) 外来種対策

奄美群島には、マンゲース、ノイヌやノネコ、ノヤギ、ニホンイタチ、カダヤシ、オオキンケイギク、ボタンウキクサなどなど、本来生息していなかった多くの外来種が侵入・定着してしまっています。

ここでは、自然遺産登録に向けた大きな課題のひとつである「外来種」について、2つの取組を紹介します。

■奄美大島や徳之島では、人家から遠く離れた山の中で野生化した犬や猫(ノイヌ・ノネコ)が多く確認され、アマミノクロウサギなどが襲われる被害が発生しています。

このため、国や県、市町村、獣医師会などが連携して対策を行っていますが、問題の解決には長い時間がかかります。犬や猫は本来ペットであり、きちんと飼っていれば野生化することはありません。

また、室内で飼うことによって、交通事故や伝染病などで命を落とす危険性も極端に少なくなります。ペットは愛情を持ち、終生飼ってあげましょう。マイクロチップの装着や不妊手術なども飼い主としての重要な責任です。



アマミノクロウサギをくわえる



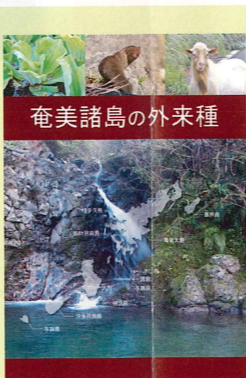
イヌに襲われたアマミノクロウサギ(徳之島)



環境省では山で捕獲したノネコを順化させ、新しい飼い主さんに引き渡すモデル的な取組を行っています。新しい飼い主さんになっていただける方、興味をお持ちの方のご連絡をお待ちしています!



奄美野生生物保護センター
電話：0997-55-8620



奄美諸島の外来種

【奄美諸島の外来種】
<http://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/data/130902aa.pdf>

環境省では、マンゲース防除事業や奄美群島の外来種に関するパンフレットを作製しています。奄美野生生物保護センターなどで配布しているほか、HPからもダウンロードできるようになっています。ぜひご覧ください。



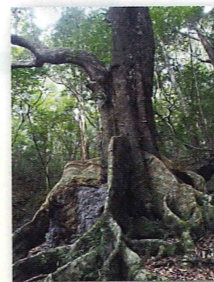
【マンゲース防除事業】
<http://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/data/gairai/boujyo/131017a.pdf>



Amami Oshima



▲畦海岸(徳之島町)



▲三京のオキナワウラジロガシ(天城町)



▲オビトカゲモドキ



◀アマミノクロウサギ推定200頭程度と数は少ないですが、徳之島にもアマミノクロウサギが生息しています。

犬田布岬(伊仙町)▶

▼闘牛大会(軽量級)



■徳之島の海岸部には真っ青な海を眺める壮大な景勝地が、そして、内陸部にはアマミノクロウサギがすむ深い森が広がっています。自然ではありません。皆様ご存知の闘牛や、縄文時代や中世の遺跡、そして何よりも島民の温かいハートと情熱が最大の魅力です。

■世界自然遺産登録候補地「奄美・琉球」の島々

徳之島

世界自然遺産登録候補地「奄美・琉球」の推薦候補区域のひとつとなった徳之島。今回は、その徳之島の魅力などについて、昨年10月に初代自然保護官となった渡邊保護官からお伝えします。



情熱溢れるこの徳之島で自然保護官として仕事ができることを光栄に思います。地元行政やNPO、地域の皆さんと手をとりながら世界自然遺産登録を目指し、一步一步前進していきたいと思ひます!



■世界自然遺産登録へ向け地元との連携を強化するために、平成25年10月1日付で天城町役場4階に環境省徳之島自然保護官事務所を開設しました。自然保護官1名が常駐し、①アマミノクロウサギ等希少野生生物の保護、②国立公園の指定、③世界自然遺産登録に関する業務などを行っています。

【写真】開所式の様子(左から、大久保伊仙町長、高岡徳之島町長、大久天城町長、植田那覇自然環境事務所長、渡邊自然保護官)